

Herbst

Rainer Maria Rilke (1875 - 1926)



Die Blätter fallen, fallen wie von weit,
als welkten in den Himmeln ferne Gärten;
sie fallen mit verneinender Gebärde.

Und in den Nächten fällt die schwere Erde
aus allen Sternen in die Einsamkeit.

Wir alle fallen. Diese Hand da fällt.
Und sieh dir andre an: es ist in allen.

Und doch ist Einer, welcher dieses Fallen
unendlich sanft in seinen Händen hält.

秋

ライナー・マリーア・リルケ

木の葉が落ちる
落ちる 遠くからのように。
まるで 天で
遠い庭が 枯れたかのように。
木の葉が落ちる
否むみぶりをしながら。

そして夜ごとに 落ちる
重い地球が
すべての星から 孤独の中へと。

わたしたちはみんな落ちる
この手も落ちる。
そして よくごらん
ほかの人たちを。
それ（落下）はすべての人の中にある。

しかしひとりの方があって
この落下を
かぎりなく優しく
その両手で 支えてくださる

コリントの信徒への手紙 I 1:8

「主も最後まであなたがたをしっかり支えて、わたしたちの主イエス・キリストの日に、非のうちどころのない者にしてくださいませ。」